



1 消防による住宅火災消火訓練 / 2 自衛隊と赤十字奉仕団・市食生活改善推進員協議会による炊き出し訓練 / 3 女性防火クラブ・多野藤岡防火安全協会による消火器を使用した初期消火訓練 / 4 消防団による水防工法 / 5 イベントブースにて災害救助犬と触れ合う家族 / 6 消防救助隊・県警機動隊の化学防護服を装着した隊員による救助 / 7 指定緊急避難場所へ向かう小野地区の住民ら



互いに声を掛け合い、協力しながら避難する市民ら



災害に備える

群馬県総合防災訓練で関係機関が連携

9月1日、県との共催により、群馬県総合防災訓練が烏川緑地で行われました。訓練には消防や警察、自衛隊、医療機関、民間ボランティア、自主防災組織など95機関の約千人が参加し、万一の災害に備えて連携の強化を図りました。訓練は県南部を震源とするマグニチュード8.1の直下型地震が発生したと想定。さらに猛烈な台風が刺戟された前線の豪雨により烏川の水位が急激に上昇し破堤する恐れが高まったとの非常事態を想定し行われました。家屋の倒壊や火災が発生したとする現場では、各機関が連携して消火・救助訓練を実施。電気・水道・ガスなどのライフラインの寸断といった状況に対しては、各事業者や工事事業者などが復旧訓練に当たりました。また震災・風水害時の想定に加え、テロ対策訓練も実施され、いざという時の危機意識も高められました。

このほか、展示や体験コーナーなどのイベントも開催され、訪れた人は楽しみながら防災について学びました。



土石流災害からの救出・救助訓練



訓練を見守る大澤知事と新井市長



埋没車両からの救出訓練



市消防団女性団員による心肺蘇生法



応急救護所での応急手当